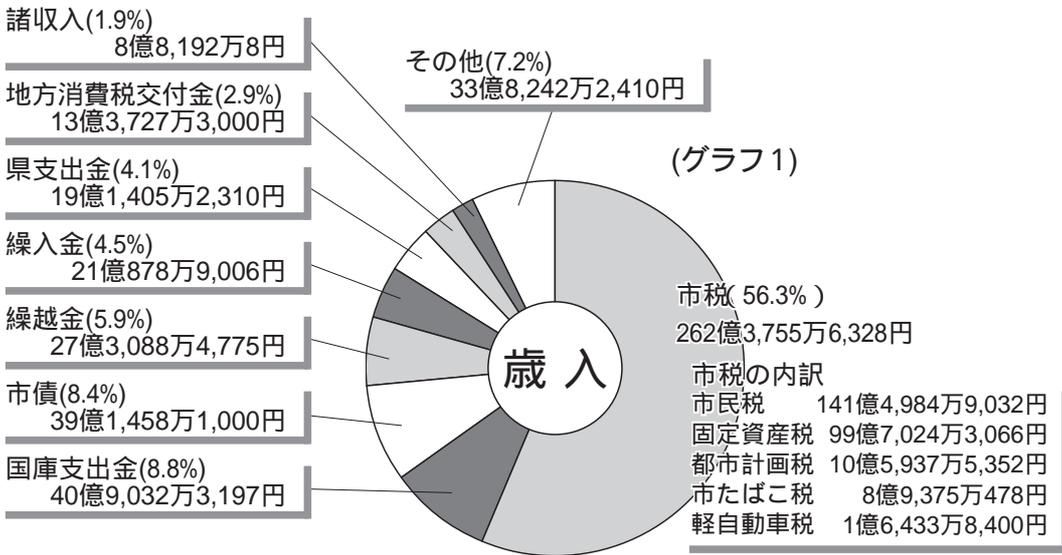


平成20年度の決算状況報告



その他の内訳
 使用料及び手数料 1.7%)..7億9,013万1,804円
 国有提供施設等所在市町村
 助成交付金等 1.2%)..5億3,916万9,000円
 分担金及び負担金 1.1%)..5億23万9,120円
 地方譲与税 0.8%)..3億9,519万2,000円
 地方特例交付金 0.8%)..3億7,810万2,000円
 自動車取得税交付金 0.6%)..2億7,382万8,000円
 地方交付税 0.3%)..1億6,316万5,000円
 財産収入 0.2%)..1億1,248万5,136円
 利子割交付金 0.2%)..9,697万2,000円
 ゴルフ場利用税交付金 0.1%)..4,391万7,639円
 配当割交付金 0.1%)..3,831万6,000円
 交通安全対策特別交付金 0.1%)..2,655万6,000円
 株式等譲渡所得割交付金 0.0%)..1,316万1,000円
 寄附金 0.0%)..1,118万7,711円

歳入は、市の財源として入ってくるお金です。その決算額は、市民税のうち、企業などの法人市民税の大幅な減額(約18億5千万円)などにより、前年度に比べ7.7%の減となりました。

歳入 465億9千778万2千34円

平成20年度の一般会計決算がまとまり、第4回定例市議会で認定されました。市の財政の中心となる一般会計の歳入決算額は、465億9千778万2千34円、歳出決算額は436億3千831万8千356円となりました(表1)。私たちの税金がどのように使われているか、お知らせします。

歳出 436億3千831万8千356円

歳出は、市民の皆さんのために使われるお金で、前年度に比べ8.6%の減となりました。グラフ2は、歳出を目的別に表したものです。民生費が最も多く

■ 歳入歳出総額

(表1)

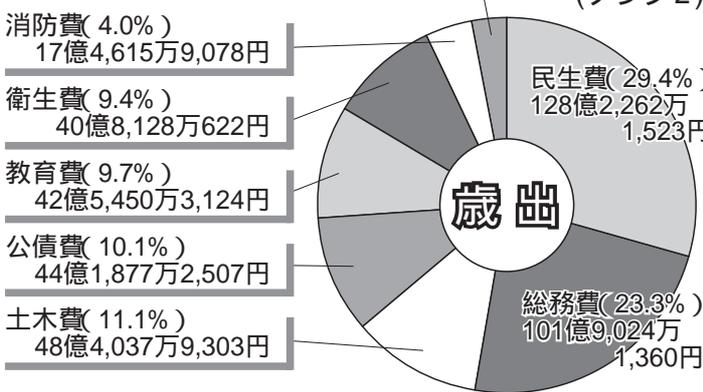
区分	歳入	歳出
一般会計	465億9,780万2,034円	436億3,831万8,356円
特別会計	国民健康保険	146億8,668万6,801円
	下水道事業	44億4,462万4,988円
	老人保健	13億4,132万6,285円
	上広瀬土地区画整理事業	1億7,978万3,965円
	狭山市駅東口土地区画整理事業	8億1,424万2,474円
	介護保険	59億7,809万1,080円
	後期高齢者医療	11億2,210万8,910円
	合計	763億1,171万8,796円

次いで総務費、土木費、公債費、教育費の順になっています。表2は、目的別歳出を市民の皆さん一人当たり換算したもので、合計は27万5千729円で8.

重点事業の主な決算 (表4)

総務費	公会計システム整備事業	919万2,750円	
	公用車更新事業	873万984円	
	(仮称) 狭山元気大学プラン策定事業	315万6,640円	
	コミュニティ施設特別整備事業	1,663万8,000円	
民生費	地区センター費(新目)	9,523万3,979円	
	市民会館機械設備改修事業	2億7,912万1,500円	
	市税等コンビニエンスストア収納事業	275万9,697円	
	長寿者家族慰労品等支給事業	155万4,400円	
	介護予防施設整備事業(奥富幼稚園跡利用施設)	1,849万500円	
	後期高齢者医療事業	9億749万5,625円	
	指定管理者制度導入事業	6,275万5,937円	
	こども(乳幼児)医療費無料化事業	2億1,477万8,705円	
	つといの広場事業(奥富幼稚園跡利用施設)	1,642万4,901円	
	高等技能訓練促進費事業	494万4,000円	
衛生費	学童保育室整備事業	1,595万1,794円	
	妊婦健康診査事業	4,966万8,000円	
	廃プラスチック類分別収集リサイクル事業	1億2,841万8,126円	
労働費	第二環境センター設備改修事業	1億4,086万5,671円	
	リサイクルプラザ費(新目)	1,027万980円	
産業費	地域職業相談室設置事業	54万7,625円	
	基盤整備促進事業	1,479万2,600円	
土木費	中心市街地活性化推進事業	730万円	
	企業立地奨励事業	2,745万9,200円	
	指定道路図作成事業	1,394万4,000円	
	道路台帳整備事業	3,821万1,600円	
	一般市道整備事業	1億7,702万6,444円	
	不老川橋りょう改修事業	1億5,525万4,738円	
	いっ水対策事業	583万8,000円	
	水富地区第5期住居表示実施事業	1,569万4,140円	
	狭山市駅西口地区第一種市街地再開発事業	4億6,850万1,000円	
	新都市機能ゾーン整備事業	1億3,411万9,164円	
	狭山市駅橋上駅舎・東西自由通路整備事業	2,904万1,500円	
	入曽駅東口地区市街地開発事業	308万6,680円	
	狭山市駅霞野線整備事業	3,028万6,977円	
	新狭山駅南口線整備事業	2,171万4,634円	
	平地林等公有地化事業	1,871万2,466円	
	智光山公園整備事業	9,145万6,908円	
	消防費	消防特殊資器材整備事業	825万1,530円
		消防機械施設整備事業	8,493万9,750円
		地震ハザードマップ作成事業	448万3,500円
教育費	教育支援員配置事業	3,189万円	
	小中学校連携教育事業	99万3,057円	
	小中学校文化・スポーツ活動支援事業	811万4,215円	
	小中学校校舎等改修事業	4,512万9,000円	
	小中学校校舎耐震補強事業	5億7,647万7,789円	
	小学校校舎空調設備改修事業	2億8,888万7,757円	
	公民館改修整備事業	1,436万10円	
指定管理者制度導入事業	4,285万5,105円		
第一学校給食センター更新事業	1,229万2,389円		

商工費(1.2%)..... 5億1,973万321円
 議会費(0.7%)..... 3億1,439万6,258円
 労働費(0.5%)..... 2億1,849万2,404円
 農林水産業費(0.5%)... 2億66万2,140円
 諸支出金(0.1%) 3,107万9,716円



性質別内訳 (表3)

項目	金額
人件費	103億4,621万2千円
扶助費	68億1,034万7千円
物件費	63億7,619万4千円
繰出金	52億875万4千円
公債費	44億1,875万2千円
積立金	43億4,925万2千円
普通建設事業費	37億9,911万2千円
補助費等	15億3,205万9千円
投資及び資金貸付金	4億1,255万円
維持補修費	3億8,508万6千円
合計	436億3,831万8千円

一人当たりの歳出 (表2)

項目	金額
民生費	8万1,020円
総務費	6万4,387円
土木費	3万584円
公債費	2万7,920円
教育費	2万6,882円
衛生費	2万5,788円
消防費	1万1,033円
商工費	3,284円
議会費	1,986円
労働費	1,381円
農林水産業費	1,268円
諸支出金	196円
合計	27万5,729円

問合せ財政課へ内線7112

表4は、重点事業の主な決算で、市税等コンビニエンスストア収納事業(こども乳幼児)医療費無料化事業などのソフト事業をはじめ、狭山市駅西口再開発の関連事業や小中学校校舎の空調設備改修など、さまざまな事業を行いました。

2%の減となりました。また、表3は、歳出を性質別に表したもので、人件費が最も多いのですが、前年度に比べ1.2%の減となりました。続いて、扶助費、物件費、繰出金の順になっています。

表4は、重点事業の主な決算で、市税等コンビニエンスストア収納事業(こども乳幼児)医療費無料化事業などのソフト事業をはじめ、狭山市駅西口再開発の関連事業や小中学校校舎の空調設備改修など、さまざまな事業を行いました。

平成20年度 水道事業会計決算状況

問合せ水道業務課へ内線2312

平成20年度の水道事業会計決算が認定されましたのでお知らせします。

収益的収入と支出
 収入30億9,139万851円 支出28億7,565万3,296円
 利益剰余金(税抜)1億7,095万1,067円は、減債積立金に積み立てました。

資本的収入と支出
 収入3億4,873万7,208円 支出13億457万4,233円
 不足額9億5,583万7,025円は、留保資金などで補てんしました。

給水原価の内訳
 水道水1m³当たりの給水原価(製造価格)は、157.21円です。

